

贈る言葉

一日一歩

夢や希望は完全にかなうわけではない。でも一歩ずつ近づくことはできるはず。日々の決断と行動によって…。



江刺南中学校
千葉 賢一 校長（53）

贈る言葉

努力は能力に勝る

努力は自分のプラスとなりマイナスにはならない。人の2倍も3倍もやればきっと花開く。

全校15人。兄弟姉妹のように仲の良い子どもたち。校長室前庭の「わんぱく広場」にこだまする笑い声に包まれた遊びの輪…。この1年、行事に学習に全員が力を合わせて頑張る姿に「共に育つ」ことの大切さを強く感じました。地区民運動会名物の「すいか送りリレー」やPTAビーチバレー大会連覇など、「みんなで！」という情熱あふれる大田代スピリットに憧れを持っている子どもたち。新たなステージでもこれまで身に付けた力と自分らしさを存分に発揮して、それぞれの夢に近づいていくことを願っています。



大田代小学校
小野 寺 清 校長（60）

贈る言葉

高き理想と不滅の力

～次なる活躍に
願いを込めて～

今年度は、行事がある度に「南中最後」と言葉にし、最後にふさわしい活動ができるよう生徒職員ともに強い決意を持って臨んできました。たくさんの活動を通して、生徒の誠実で粘り強く努力する姿、礼儀正しい爽やかな姿、地域を大切に思う気持ち、そして保護者や地域の協力体制など、創立時の精神が、不滅の力として脈々と受け継がれていることを実感しました。

来年度からは、本校の精神を受け継ぎつつ、江刺地区三中学校の伝統と文化を融合させ、高き理想のもと、新たな伝統を築いていくことを願っています。

「今新らしの光ふり、われらこぞりて道拓く」。昭和53年5つの中学校が統合し、地域の思いを一つに江刺東中学校が創立されました。これから自分たちの力で協力し合い、次代を担う新しい道を拓いていくという願いが感じ取れます。43年経過した今も、江刺東中学校で学ぶ者に、その志は脈々と受け継がれています。

この東陵の地に育まれたことを誇りとし、「再光」の輝きを放つ力を持つ自分自身を磨き上げてほしいと思います。いつでも、いつまでも故郷は君たちを温かく見守ります。



江刺東中学校
関川 寛司 校長（58）

始まりのとき

「始まりがあれば、いつか終わりが訪れる——」。頭では分かっているけど、なかなか心がついていかないことはあると思います。

今回、閉校する3校の関係者にとって、自分たちの学校がなくなるのは、心にぽっかりと穴が空くように感じられるかもしれません。学校は、先生方や児童生徒だけでなく、保護者や地域の人たちにとっても、大切な場所でした。

3月下旬、各学校では閉校式が開かれ、長年愛されてきた学びやに別れを告げることになります。そしてやってくる4月。桜の便りが届くころ、子どもたちは、新たな学校でたくさんのクラスメートに囲まれて、学校生活をスタートします。育んでくれた学びやの思い出と共に、みんなの思いも背負って、新たな歴史と伝統を刻んでいきます。

特集「学びやは思い出と共に」
終わり



江刺東中学校

雄大な自然と5つの地域に見守られ
伝統を受け継いだ43年



左上 / 体育館に掲げられた生徒会スローガン 右上 / 3年度在校生による手形を施した製作物 左下 / 代々受け継がれてきた伝統の「東中ねぶたばやし」 右下 / 合唱コンクールが各学級の団結力を高めた

昭和53年、玉里、梁川、米里、木細工、広瀬の5つの中学校が統合して誕生した江刺東中学校。学区の面積は、江刺地域の約40%、人口は20%を占め、地域の教育に対する思いや協力を受けながら、教育活動が行われてきました。「進んで学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる人」という教育目標の下、困難なことにも挑戦し、粘り強く物事に取り組む校風は、江刺東中学校の良き伝統として受け継がれてきました。

平成30年度には創立40周年を迎え、巣立っていった多くの卒業生と地域の皆さんと共に喜びを分かち合いました。

平成27年度県中総体3位の野球部や、元年度県中学校新人大会で準優勝に輝いた男子バレー部など、その輝かしい成績は、これからも受け継がれていきます。

■所在地 江刺玉里字後沢 76-1
■生徒数 105人



卒業生

何事にもチャレンジ 自分の財産となり自信となる



岩手江刺農協広報担当
小菅 恵さん（37）

中学校の思い出は、応援歌と合唱コンクールの練習が思い返されます。みんな一生懸命で、時には意見がぶつかることも。運動会で「東中ねぶたばやし」を演舞し、何事にも全力で取り組む大切さを学びました。

卒業後は、現在勤めているJA江刺の広報紙の取材で訪問する機会がありました。地域活性化をテーマに、江刺の農産物や地域の魅力を発信する授業でしたが、素直で真剣に取り組む生徒に感心しました。母校が無くなる寂しさはありますが、生徒には選択肢が多くある時代、いろんなことにチャレンジして自分で道を切り開いてほしいと思います。

生徒

見守ってくれた学校 感謝の気持ちいっぱい

江刺東中学校は、自分から明るくあいさつができる生徒が多くいる学校です。私たちには、先輩から受け継いだ伝統応援「東中ねぶたばやし」があります。5月の運動会で披露しましたが、学年を超えて取り組んだ練習の成果を本番に発揮ができ、とてもうれしく感じました。

新中学校に進むに当たり、期待と不安の気持ちが入り混じっていますが、これまでの活動を通して身に付いた「自信」を胸に、今後も頑張っていきたいと思っています。最後の大会となる中総体では、一中生と南中生のみんなと力を合わせていい結果を出したいです。



江刺東中学校生徒会会長
昆野 歩夢さん（14）